

まどか 通信



社会福祉法人 まどか

〒720 - 0032 福山市三吉町南一丁目 7 番 9 号

☎ 084 - 928 - 1643 (Fax 兼用)

E-Mail : madoca1643@nifty.com

<http://madoca1643.style.coocan.jp/>

<http://www.facebook.com/madoca1643/>

令和 7 年 9 月 1 日

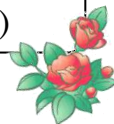
第 8 0 号

発行責任者：神谷 和孝

発行：社会福祉法人 まどか

編集責任者：高橋 恒二郎

(5月・9月・1月 発行)



～ いい言葉は人生を導いて呉れる ～

理事長 神谷 和孝

長きにわたって「まどか通信」の巻頭言を書かしてもらっているので、時にはそれまでに書いた内容と同じことを書いているかも知れませんが、そのことに気付かれてもお許しください。

さて、もう20年になるでしょうか。勤務していた学校を退職して、比較的に今までより自由な時間がとれるようになり、テレビを見たり、読書する時間が多くなりました。そうすると、テレビや本から色々と人生にかかわる言葉、例えば困難な人生を克服した人の体験談、名をなした人の成功談に接することが多くなりました。

そういう時は感動していても、時がたつと忘れてしまうことが多く、そこでいい言葉にふれた時はすぐにメモ（時間がある時にはその言葉を）ノートに書き直すことにしました。そのノートはいつでも見られるような場所に置いています。

ノートは100人以上の人の言葉で埋まっていて、私は気持ちが重い時とか、対人関係でつまずいて、悔やんでいる時など、そのノートの最初のページから一つひとつの言葉を見ているうちに自然に気持ちが落ち着いてくるのです。

もう少し早く、良い言葉が人生をリード（導く）して呉れることをわかっていたら、私の人生も、今以上に良い人生になっていたと思います。

私の書いた巻頭言を読んで下さっているのは私よりずっと若い方が多いと思いますので、良い言葉に接する努力をしてみてはどうでしょう。



とても暑い日が続いてますが、暑さが緩んだ時に気も緩んで一気に疲れが出てしまうこともあります。皆さん体調には気をつけてお過ごしください。
すみれ工房でも暑さ対策をしながら日々の作業や就職活動に取り組んでいます。



Facebook では毎月の様子と詳細もお知らせしていますので巻末のQR からご確認ください。

空き状況（9月1日現在）

移行支援

・・・若干名

継続支援B型

・・・要相談

☆利用者さん紹介☆

昨年 11 月に発行した 77 号以来となる『利用者さん紹介』コーナーです。😊
今年度から利用されている元気いっぱいなお二人に自己紹介をお願いしてみました。

☆ 土居 蒼真 さん ☆

趣味：音楽とラジオ（FM）を聞くこと

特技：釣りをすること

好きな食べ物：全部

頑張っていきたい作業：田中細巾、すみれFPC、清掃

挑戦していることや挑戦してみたいこと：パソコン入力

意気込みをどうぞ！！：早く就職して、長く会社につとめるようにがんばります。分からないことがある時はそうだんできる会社にしょうしょくしたいです。



☆ S. K さん ☆

趣味：音楽、映画鑑賞

特技：体を動かすこと

好きな食べ物：カツ丼、カレーライス

嫌いな食べ物：今は特にはないです。

頑張っていきたい作業：掃今の行っている作業の一つひとつミスがないように

挑戦していることや挑戦してみたいこと：せとうち、徳永製菓

意気込みをどうぞ！！：パソコンを1から覚え直したいです。





短時間トライアル雇用制度を利用して、7月から働きはじめた方に1か月が過ぎてみてのインタビューをしました。



Q. 働き始めて良かったなと思うことは何ですか？



清掃の仕事なので、汚れに適した洗剤や汚れの落とし方等、プライベートの掃除でも活かせる知識を学べたので、その点は働き始めて良いと思いました。



Q. 働いている中で大変と感じていることはありますか？



肉体労働なので体力面の管理が大変です。



Q. すみれ工房でのどんな取り組みが現在に活かされていると感じますか？



効率よく作業する取り組みが、現在行なっている清掃でも、同じように自分で方法を考えて、掃除時間を短縮するという事に活かされていると感じました。



Q. すみれ工房の支援員に伝えたいことはありますか？



支援員の皆様のおかげで今、仕事が出来ているので、ありがとうございます。



Q. これからの抱負を聞かせてください！



清掃だけでなく色々な仕事を経験していきたいです。



企業の担当者の方からもご本人の様子を伺ってみました。



とてもまじめに掃除に取り組んでいて、よく働いてくれています。不足している道具や備品があれば弊社担当者へ伝えてもらうルールも守ることができていて、問題ないと感じます。
掃除の出来を褒める社員の声も私の耳に入っているほどです。
すれ違ったりした時には聞こえる声で「お疲れ様です。」と自分からあいさつを交わすチャレンジをしてみたいです。
あとは今の業務より少しお願いする作業が増えるかもしれませんが、今後もよろしくお願いします。(広島化成株式会社 担当者)



とまり木通信



みんな大好き！

回転寿司『スシロー』でお腹いっぱい！



みんなで人気回転寿司の『スシロー』へ行ってきました！ レーンを流れてくるたくさんのお寿司に、行く前から「何を食べようかな？」とワクワク。お腹も心も大満足の日になりました。最近の注文はタッチパネルが主流。操作がわからない時は「次はこのボタンだよ」「これで注文できたかな？」と、お互いに声を掛け合い、自然と助け合って注文する姿がたくさん見られました。協力して注文したお寿司は、より一層美味しく感じますね！



十八番を熱唱！

カラオケ『ハニービー』で熱いステージ！



人気レクリエーション、カラオケ大会！今回は『ハニービー』へ行ってきました。自慢の歌声を披露したり、みんなで盛り上がったり、今回も笑顔と音楽にあふれる楽しい時間となりました。キラキラの照明がまぶしいお部屋に入ると、気分はすっかり人気歌手！最新のヒット曲から懐かしの演歌、元気が出るアニメソングまで、様々なジャンルの曲が次々と予約されていきます。

マイクを握れば、みんなが主役！少し緊張しながらも歌い始めると、手拍子やタンバリンで仲間が応援してくれて、だんだんとノリノリに。気持ちよく歌いきった後には、部屋中に大きな拍手が響き渡りました。

地域活動支援センター 創作活動レポート



～折り紙・さくらほりきり・さをり織を通じて広がる地域とのつながり～
 地域活動支援センターでは、利用者の創造力を育み、心豊かな時間を過ごしていただくことを目的に、さまざまな創作活動を実施しています。今回は「折り紙」「手作りクラフト（さくらほりきり）」「さをり織」の3つの活動を中心に、参加者の皆さんとともに楽しく取り組みました。



● 折り紙：小さな紙から広がる世界

色とりどりの折り紙を使って昆虫や花などを制作しました。特に昆虫の折り紙では、細かな折り方に挑戦することで集中力が高まり、完成した作品を見て参加者同士で感嘆の声が上がりました。作品は施設内に展示し、来訪者にも楽しんでいただいています。



● さくらほりきり：季節を感じるクラフト制作

「さくらほりきり」のキットを使ったクラフト制作では、季節のモチーフを取り入れた作品づくりに挑戦しました。フェルトや紙素材を使って、動物や果物などのかわいらしい作品が完成。参加者の個性が光る作品が並び、笑顔あふれる時間となりました。

また、「さくらほりきり」については、生活協同組合ひろしま 様からの活動支援助成金を活用させていただきました。本当にありがとうございました。



● さをり織：自分だけの色と模様を紡ぐ

織り機を使った「さをり織」では、自由な色使いや模様の組み合わせを楽しみながら、世界に一つだけの布作品を制作しました。初めての方もスタッフのサポートのもと、安心して取り組むことができ、完成した布はポーチや壁飾りなどに活用されています。

✿ 地域とのつながりを育む取り組み

これらの創作活動は、単なるレクリエーションにとどまらず、地域の方々との交流のきっかけにもなっています。完成した作品は地域の福祉施設や公民館に展示したり、地域イベントで紹介するなど、外部との接点を積極的に持つことで、利用者の社会参加意欲の向上にもつながっています。

2025. 06. 07(土)
in 芦田川大橋西詰河川敷

BBQ

毎年恒例のBBQ！

これが楽しみ！という方も★



梅雨直前でしたが天候にも恵まれ
気持ちもお腹も一杯な一日になりました！



今年は「そよかせ」さんも参加♪

少しずつコロナ禍前の様子に戻ってきたと
実感しますね！



社会福祉法人 まどか 令和 6 年度 事業報告

(令和 7 年 3 月末現在)

○実施行事 観桜会 (4 月)、BBQ (6 月)、クリスマス会 (12 月)、避難訓練 (2 月、3 月) ※ 行事については、法人全体または事業所別で感染症等に留意しつつ実施。 ○その他 福山市医師会看護専門学校 第一看護学科 臨地実習 受入	
障害福祉サービス事業 (すみれ工房 および 就労定着支援事業所すみれ工房)	
就労移行支援事業 (定員 : 6 名)	就労継続支援 (B 型) 事業 (定員 : 14 名)
○利用者の状況 利用契約者数 : 5 名 (男性 5 名、女性 0 名) 平均年齢 : 30.00 歳、一日平均利用者数 : 3.90 人 就労者数 : 1 名 就労後 6 か月定着者数 : 4 名 ○職員の状況 管理者 1 名 (兼) サービス管理責任者 1 名 (兼) 就労支援員 非常勤 1 名 (兼)、職業指導員 常勤 1 名、生活支援員 非常勤 1 名	○利用者の状況 利用契約者数 : 30 名 (男性 23 名、女性 7 名) 平均年齢 : 43.93 歳、一日平均利用者数 : 14.98 人 年間平均月額工賃 : 19,407.4 円 ○職員の状況 管理者 1 名 (兼) サービス管理責任者 1 名 (兼) 職業指導員 常勤 2 名、生活支援員 常勤 1 名 目標工賃達成指導員 常勤 1 名
就労定着支援事業	
○利用者の状況 利用契約者数 : 2 名 (男性 2 名、女性 0 名) 延べ来所面談件数 : 24 件、延べ電話相談件数 : 48 件、延べ企業訪問件数 : 20 件 ○職員の状況 管理者 1 名 (兼)、サービス管理責任者 1 名 (兼)、就労定着支援員 非常勤 1 名 (兼)	
地域活動支援センター事業 (とまり木)	
○利用者の状況 利用契約者数 : 48 名 (男性 26 名、女性 22 名) 一日平均利用者数 : 13.13 人 ○職員の状況 施設長 常勤 1 名 生活支援員 常勤 2 名	○実施プログラム 生産活動 (屋内軽作業) 創作活動 (さをり織り) 余暇活動 (外食、散策) ミーティング (不定期実施) ※各種活動は利用者の希望に沿って実施しました。

社会福祉法人 まどか 令和 6 年度 決算報告

(令和 7 年 3 月末現在 単位 : 円)

貸借対照表

資金収支計算書

事業活動計算書

科目名	合 計
資産の部	
流動資産	45,765,537
固定資産	49,711,200
資産の部合計	95,476,737
負債の部	
流動負債	5,003,697
固定負債	9,398,000
負債の部合計	14,401,697
純資産の部合計	
基本金	3,424,478
国庫補助金等特別積立金	15,256,399
その他の積立金	400,000
次期繰越活動収支差額	61,994,163
純資産の部合計	81,075,040
負債及び純資産の部合計	95,476,737

科目名	合 計
事業活動による収支	
事業活動収入(1)	62,982,920
事業活動支出(2)	56,938,020
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,044,900
施設整備等による収支	
施設整備等収入(4)	0
施設整備等支出(5)	1,405,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,405,000
その他の活動による収支	
その他の活動収入(7)	134,669
その他の活動支出(8)	200,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 65,331
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	4,574,569

前期末支払資金残高 (12)	37,075,271
当期末支払資金残高(11)+(12)	41,649,840

科目名	合 計
サービス活動増減の部	
サービス活動収益(1)	61,197,454
サービス活動費用(2)	57,976,570
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	3,220,884
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益(4)	1,785,466
サービス活動外費用(5)	48,447
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,737,019
経常増減差額(7)=(3)+(6)	4,957,903
特別増減の部	
特別収益(8)	0
特別費用(9)	2
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 2
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	4,957,901
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	57,236,262
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	62,194,163
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	0
その他の積立金積立額(16)	200,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	61,994,163

障害者を取り巻く最近の動向

バラ会会長 田和桂子

去る 2025 年 3 月、障害年金の不支給が、2024 年以降著しく増加していることを指摘した記事が共同通信より配信されました。2023 年と 2024 年で、精神・発達障害では 24 年の不支給割合が 23 年比で 2 倍に増えていたということです。調査に関わった社労士からは「明らかに判定が厳しくなった。以前なら受け取れたはずの人に支給されなくなり、生活に影響が出ている」との声が上がっています。

こうした情勢の背景には何があるのでしょうか。はっきりとした原因は示されていませんが、少子高齢化が進んでいく中、社会保障費が膨らんでいっており、どこかを削減しないといけないという動きが一因としてあるのではないかと思います。そして、最近の動向として障害者支援に多額の税金をつぎ込みたくないという意識がその遠因として潜んでいるのではないかと思います。

9 年前の 7 月 26 日、神奈川県相模原市にある知的障害者施設「津久井やまゆり園」で元職員による入所者殺害事件がありました。この事件は 9 年経った今でも障害者の人権を奪った悲惨な事件として生々しく思い起こされます。この元職員をこのような犯罪に追い込んでいったものは何でしょうか。彼自身の持論として「生産性のないものは生きる価値がない」という考え方が根本にあります。そして、介護現場において低賃金で重労働を押し付けられている憤懣もあったのかもしれません。私たちはこの事件を一人の変質的な人間が起こした事件として片付けるべきではないのでしょうか。表立って、彼のように「生産性のないものは生きる価値がない」という人はあまりいないかもしれませんが、「自己責任」という言葉がいろんな場面で登場する昨今において、「働かざる者食うべからず」という考え方は当たり前のように社会に浸透しているのではないのでしょうか。このような価値観が横行する現代において、働きたくても働けない障害者はどんどん社会の片隅に追いやられてしまいます。

この度の参院選での顕著な動向として、「排外主義」「自分さえ良ければいい（〇〇ファースト）」という民意が大きく反映されました。このような社会意識が急速に醸成されていく中で、障害年金の不支給、生活保護受給者の削減などが正当化されていくのではないのでしょうか。

弱者が踏みにじられていく社会にしないために、私たち当事者がアンテナを張って社会の動きを注視していなければなりません。そして、堂々と弱者を押しつぶしてくる社会になる前に、その動きの兆候を見つけ阻止していかななくてはなりません。それは言うまでもなく、一人の人間ができることではありません。私たち当事者が繋がり合い、共に学び、声をあげていくことによって可能になると思います。

8月4日には、福山市に要望書を提出し、保健福祉局長及び福山市保健所長同席の下、医療費助成の問題や「にも包括」推進についてなどを訴えました。すぐに実現するのは難しいかもしれませんが、訴え続けることがなければ実現することはありません。この声が少しでも大きく、太くなっていくよう、皆さんの一層のご支援、ご協力を期待しています。

2025年度 家族会交流学習会のご案内(予定)

第1回 テーマ：精神障害・発達障害のある方と良い関係を築くために part1

<DVD 視聴>「こんなときにはどうするの？回復力を高める関わり方の基本」

講師 SST (ソーシャルスキルトレーニング) リーダー高森信子さん

*DVD 視聴後、参加者の皆さんとフリートーキングします。

○日 時 : 9月27日(土) 13:30~15:30

○場 所 : 福山すこやかセンター3階 マンパワー視聴覚室

第2回 テーマ：精神障害者のリカバリーに必要なこととは

<DVD 視聴>「オープンダイアログが教えてくれるとっても大切なこと」

講師 筑波大学教授・精神科医 斎藤環氏他

*DVD 視聴後、参加者の皆さんとフリートーキングします。

○日 時 : 11月22日(土) 13:30~15:30

○場 所 : 福山すこやかセンター3階 マンパワー視聴覚室

第3回 テーマ：精神障害・発達障害のある方と良い関係を築くために part2

<講演会> 精神障害・発達障害をお持ちの方と関わるために

講師 SST (ソーシャルスキルトレーニング) リーダー田栗律子さん

*お話だけでなく実地も交えて講習していただきます。

○日 時 : 3月15日(日) 13:30~15:30

○場 所 : 福山すこやかセンター1階 多目的ホール

*どの会も参加希望の場合は、事前にご連絡ください。070-9143-5903 (田和)

～「善意」のお知らせ～

今期も「法人まどか」および「すみれ工房・とまり木」、そして「福山市精神保健福祉家族会（バラ会）」に多くの皆様よりご厚志・物品提供および作業支援をいただき、誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

★ 法人まどかへの善意

・岡田美枝・高橋恵子・生活協同組合ひろしま・天満屋ストア労働組合

★ 法人まどかへのボランティア

・岡田美枝・國貞将志・村田紀美子・精神保健福祉ボランティアグループ「そよかぜ」

★ 福山市精神保健福祉家族会（バラ会）への善意

※ 匿名でのご寄附も頂いております。ご厚情につきましては記録に万全を期しておりますが、脱漏がございましたら失礼の段、ご容赦いただきますようお願いいたします。

仕事を探しています

見学・体験利用

ボランティア

こんな仕事は頼める？
どこまでやってもらえるの？
まずは、ご連絡ください！

どんな場所か見てみたい…
どんな事をしているの？
気軽にお問い合わせください！

何かできないかな？
一緒に手伝いたい…
ご連絡をお待ちしています♪

今後の行事予定（令和7年9月以降12月まで）

5月～ 10月	福山市医師会看護専門学校 精神看護実習 受入開始 （10グループ58名、各グループ2日間予定）
12月中旬	クリスマス会
12月30日 ～1月5日	年末年始休業
その他行事は、事業所毎に感染症対策をしつつ実施していきます。	

編集後記

記録的な猛暑が続いた夏もようやく峠を越し、朝夕の風に秋の気配を感じる頃となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。さて、今号をもちまして「まどか通信」は記念すべき80号の発行となりました。平成17年11月の創刊から、こうして皆様のもとへ情報をお届けし続けることができましたのも、ひとえに日頃から取材にご協力くださる利用者様、ご家族様、そして本誌を手にとってくださる皆様の温かいご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。今号も、まどか全体の親睦を深めたBBQ大会をはじめ、「とまり木」での回転寿司・カラオケ大会や創作活動の報告、「すみれ工房」からの利用者さん紹介やトライアル挑戦者へのインタビューなど、各事業所の活発な活動と、利用者さんたちのたくさんの笑顔をお届けすることができました。一方で、バラ会（福山市精神保健福祉家族会）の田和会長からは、障害を持つ人々を取り巻く社会の厳しい現状について、深く考えさせられるご寄稿をいただきました。こうした楽しい活動の裏側にある大切な課題から目をそらさず、私たちもバラ会の皆様と手を取り合って、誰もが尊重される社会の実現に向けて協力していきたいと、改めて強く感じております。80号という一つの節目を迎えましたが、これからも「まどか」の様々な活動や利用者さん一人ひとりの輝き、そして私たちが共に考えるべきテーマを、誠実に発信し続けていきたいと思っております。季節の変わり目、皆様どうぞご自愛ください。今後とも「まどか通信」をよろしくお願いいたします。（とまり木 施設長 長谷川）

Facebook



HomePage

